

平成28年度 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

山形県立鶴岡工業高等学校(全日制)

教育目標	1 豊かな教養と工業に関する知識と技術を修め、創造性に富んだ人間の育成。 2 自ら深く考え正しく判断する力と他を思いやる心をもった感性豊かな人間の育成。 3 健全な身体とねばり強い実践力を培い、心身共にたくましい人間の育成。	重点目標	1 確かな学力の育成と授業の充実。 一社会を生きぬく基盤となる学力の育成一 2 心身の健康と生徒指導の充実。 一豊かな心と健やかな体の育成一 3 キャリア教育の充実。 一変化に対応し、社会で自立できる力の育成一 4 工業教育の充実と学校活力の創出。一地域と学校の協働一 5 地域に根ざした魅力ある元気な学校。一郷土に誇りを持ち地域とつながる生徒の育成一
------	--	------	--

達成度	A : 達成	B : 概ね達成	C : やや不十分	D : 不十分
-----	--------	----------	-----------	---------

評価項目	自己評価(年間)				学校関係者評価	総括
	具体的方策と指導・基準等	目標達成状況及び取り組み状況	達成度	次年度に向けた改善策	意見・要望・評価等	
1 学力の向上と学習指導の充実	(1)家庭学習の定着と探求的な学習の展開による確かな学力の育成を図る。 (2)知識・技能の活用による探求心や表現力を育む授業の展開を行う。 (3)高度な資格や検定等の取得を目指した高い専門性を持った生徒の育成を目指す。	(1)出席率99.5%以上を達成できた。 (2)家庭学習2時間以上、欠点科目者0(ゼロ)を目指したが達成できなかった。 (3)年間図書貸出読書数4.2冊/人(目標6冊) (4)生徒授業評価アンケート満足度80%達成。 (5)実用英語検定4名合格、2級は4名が受験。	C	・年度末に家庭学習時間を含めた生活アンケートを実施した。実態を把握し改善策を検討する必要がある。 ・普通教科の強化策が求められるている。教育課程の見直しが必要になって来ている。	・工業高校とは言え、大学進学は大事。今年度は頑張っているように見える。 ・授業で学んだ知識がしっかりと理解し、役立てるよう指導を進めて頂きたい。	・地域に根ざした魅力ある元気な学校、郷土に誇りを持ち地域とつながる生徒の育成に心掛けて実践して行きます。 とくに確かな学力に基づいたキャリア教育の視点で探求心と向上心を持った生徒育成に取り組みます。まだ習慣化づくりの点で不足しており、次年度も継続して行きます。
2 心身の健康と生徒指導の充実	(1)自他の尊厳を大切に、社会の一員としての規範意識やマナーの育成を図る。 (2)豊かな人間関係を育む学校生活と交通安全・情報等に関するモラル教育の充実を図る。 (3)家庭や地域と連携・協働した教育活動による生徒指導の充実を図る。	(1)遅刻者0人の日数が年間30日を達成できた。 (2)自転車事故が10件と多かった。(重大なし) (3)部活動加入率90%を達成したが昨年より減。 (4)PTA総会2回出席率60%目標で57%ほど達成。 (5)学年PTA・学級PTA・地区PTA全実施できた。 (6)生徒保護者向け『保健室通信』は年8回以上の発行を目指したところ、20回発行できた。 (7)学年団部と当該学科との情報交換を密にし、MH委員会(特別支援)を適時開催できた。	B	・とくに自転車運転について地域の一員としての自覚及びマナーの向上を目指す。 ・いじめは絶対許さない校風づくり行い、完全防止を徹底する。 ・全職員が共通認識をもって細かな生徒指導に対応する。	・個人指導をさらに充実させて下さい。 ・読書に力を入れ、読後感を醸成させてほしい。小論文作成能力の向上にもつながる。	・社会で自立できる社会性を身につけながら、いじめの根絶や交通安全意識の向上に今後も取り組んで行きます。 ・元気で豊かな心と健やかな体をつくり、工業教育の充実と学校活力の創出に取り組んで行きます。
3 キャリア教育の推進	(1)将来の在り方生き方を探求し、変化に対応できる実践的な技術者の育成を目指す。 (2)コミュニケーション力や自己表現力等の求められる人間力の育成を図る。 (3)地域の未来を考え、国際的な視野を持って高い目標を実現できる進路指導を実現する。 (4)ものづくり活動を通じた主体性・創造性を備えた実践力の育成を図る。	(1)就職希望者の早期100%内定を目指し達成。 (2)地元就職率58%と微増したが期待値までは届かなかった。 (3)全クラス三者面談を年1回以上実施できた。 (4)国立大学進学希望者100%合格を目指したが達成できなかった。 (4)進路ガイダンスを年1回以上目指し、達成。 (5)3年生は3年間で資格取得を3つの検定合格と1つの国家資格合格を目標にしたが、国家資格は達成できなかった。	B	・今年度から3年間を見通した進路ガイダンスを実施したが、今後は自己のキャリアプランのロードマップを作成して明確な進路意識を醸成させたい。 ・個別指導をさらに丁寧に行う必要がある。全職員が支援できる体制づくりを確立が必要がある。	・なぜ、この資格が求められるかをよく認識させてほしい。必要性が理解できれば合格率のアップにつながるはず。 ・離職した多々の話を聞きます明確な目標を持って学校生活を送っているのでしょうか。	・地域拠点校としての特色と魅力をさらに発信できるように努力していきます。 各種大会で全国で優勝できる生徒を育成します。
4 地域連携と魅力ある元気な学校	(1)地域や産業界との連携による工業教育の活性化を図る。 (2)小・中学校への魅力発信と大学等との連携による工業教育の充実を図る。 (3)全国で活躍できる部活動やものづくり活動の育成と支援を図る。 (4)ホームページやパブリシティ等による積極的は情報の発信を図る。	(1)各種ロボットコンテストや、ものづくりコンテストで上位入賞の目標が達成できた。 (2)地域に工業技術を生かした研究活動とPR活動を積極的に行った。とくに、ものづくり展示会は3回外部に出向き実施し好評を得た。 (3)中学生体験入学会の満足度95%以上の達成。 (4)HPの更新は月2回の目標が週1回以上達成。 (5)学校紹介パンフをリニューアルした。	B	・地域になくてはならない学校として、特色と魅力を大いに発信していく。 ・運動部、文化部の活発な活動により拠点校として維持・発展していく。 ・伝統に甘んじることなく常に新しい視点で地域と連携していく。	・本年度の活動は、指導・熱意のたまものであり、近年にない成果だと思う。 ・地域に溶け込んだ特色ある活動をしている。これらはマスコミも高く評価している。	

自己評価及び学校関係者評価の改善点等	・工業高校の特徴であるものづくり教育をさらに発展・充実したものにして将来の進路実現に結びけられるよう、職員一丸となって取り組む。 ・改善の要するところ、すでに達成できていて更に進展させる方策について全職員で共有し検討していく。
--------------------	--